



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 王将フードサービス  
コード番号 9936 URL <http://www.ohsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 隆行  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 内田 浩次  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 075-595-4484  
平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	37,438	1.6	3,595	△19.5	3,696	△18.8	1,937	△26.1
25年3月期第2四半期	36,833	4.5	4,465	△2.4	4,550	△0.4	2,622	2.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,411百万円 (△10.1%) 25年3月期第2四半期 2,680百万円 (1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	95.96	—
25年3月期第2四半期	129.91	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	60,230		40,408		67.1	
25年3月期	59,260		39,007		65.8	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 40,408百万円 25年3月期 39,007百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
26年3月期	—	40.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	76,807	3.3	8,083	△8.2	8,295	△8.6	4,619	△6.2	228.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	23,286,230 株	25年3月期	23,286,230 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,099,828 株	25年3月期	3,099,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,186,402 株	25年3月期2Q	20,186,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成25年11月18日(月)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会(大阪)
- ・平成25年11月19日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会(東京)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

＜ 連 結 経 営 成 績 サ マ リ ー ＞			
	金額	構成比	前年同期比
売上高	37,438 百万円	100.0 %	1.6 %増加
営業利益	3,595 百万円	9.6 %	19.5 %減少
経常利益	3,696 百万円	9.9 %	18.8 %減少
四半期純利益	1,937 百万円	5.2 %	26.1 %減少
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全店客数前年同期比3.1%増(既存店2.5%減)…直営店実績</li> <li>・ 既存店売上高対前年同期比3.0%減…直営店実績</li> </ul>			

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策の期待感等から金利低下と円安及び株高が進行する中で、輸出企業を中心に企業業績の改善が見られ、従来のデフレ対応型であった低価格志向は徐々に弱まりつつあり、2020年東京オリンピック開催も決定する等日本経済は全体として景気回復に明るい兆しが現れはじめ、一部高価格商品への需要も高まっております。しかしながら地方における消費環境は依然として厳しく、国外では中国における日本企業のみが標的となるチャイナリスクが顕在化し、再びASEAN諸国へ投資先が動きつつある中で成長率の伸びが鈍化しつつあり、欧州債務問題やアメリカ債務上限問題も相まって先行き不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、消費税引き上げが決定し、外食日常消費意欲への節約意識は更に高まるとともに、原材料価格の上昇、中食市場拡大等の要因に加え、記録的な猛暑やゲリラ豪雨・長雨、大型台風の影響により依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社は2013年7月16日の東京証券取引所と大阪証券取引所の現物市場統合に伴い、東京証券取引所市場第一部上場企業となりました。このことにより、国内はもちろん国外からも注目される企業となり、ステークホルダーの皆様の弊社に対する更なる期待に応えるため、全従業員一人ひとりが常にお客様の要望に対して社長ならばどう対応するかを考え、自発的に実践しグローバルな視点で物事を考えローカルに展開する意識改革に努め、各店長が全スタッフ一人ひとりの多様性の成長に対応して促し続けることを実践し、さらなる店格向上へ全社一丸となって取り組んで参ります。

また北海道への展開を着々と進め、8月に10店舗目となる清田店をオープンし、多くのお客様にご来店頂いております。2～3年で20店舗、いずれは50店舗体制を視野に入れており、今後は更なる全国展開に向けての出店に注力して参ります。

店舗展開の状況につきましては、当連結会計年度の出店計画に基づき、関東、関西地区を中心に直営11店、フランチャイズ（以下FCという）3店の新規出店、直営1店のFC店への移行、直営2店、FC1店の閉鎖を行っております。これにより当第2四半期末の店舗数は、直営450店、FC226店となりました。

① 売上高

連結売上高は、前年同期に比べて6億5百万円(1.6%)の増収で374億38百万円となりました。

② 営業利益

新店効果による増収がありましたが、材料費の高騰、電気・ガス代や人件費等の増加により、前年同期に比べて8億70百万円(19.5%)減少し、35億95百万円となりました。

③ 経常利益

上記理由等により、前年同期に比べて8億54百万円(18.8%)減少し、36億96百万円となりました。

④ 四半期純利益

上記理由等により、前年同期に比べて6億85百万円(26.1%)減少し、19億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9億70百万円(1.6%)増加し、602億30百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億15百万円(6.6%)増加し、132億45百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億54百万円(0.3%)増加し、469億84百万円となりました。主な要因は投資有価証券の時価の上昇に伴う増加等であります。

(負債の部)

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円(2.1%)減少し、198億21百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ6億5百万円(4.9%)減少し、117億63百万円となりました。主な要因は1年内返済予定の長期借入金の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億73百万円(2.2%)増加し、80億58百万円となりました。主な要因は長期借入金の増加等であります。なお、借入金の残高は96億31百万円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14億1百万円(3.6%)増加し、404億8百万円となりました。主な要因は配当金の支払い10億9百万円による減少に対し、四半期純利益19億37百万円の増加に加え、その他有価証券評価差額金の増加等であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.8%から67.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億45百万円増加し、115億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期より2億92百万円(7.6%)減少し、35億69百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益の減少であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益36億8百万円に減価償却費16億10百万円等を加えた額から法人税等の支払額17億43百万円等を減じた額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期より8億1百万円(35.3%)減少し、14億68百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の減少であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出15億60百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期より3億30百万円(35.6%)増加し、12億59百万円となりました。主な要因は配当金の支払額の増加であります。

主な内訳は、借入金の純減少額2億49百万円や配当金の支払額10億9百万円による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月20日に修正発表した業績予想の見直しに対して、当第2四半期連結業績は想定した範囲内の実績であるため、業績予想は変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,697	11,551
売掛金	202	207
商品及び製品	91	96
原材料	225	267
その他	1,228	1,133
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	12,430	13,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,019	43,796
減価償却累計額	△28,551	△29,588
建物及び構築物 (純額)	14,467	14,207
機械装置及び運搬具	2,848	2,860
減価償却累計額	△1,976	△2,091
機械装置及び運搬具 (純額)	872	768
工具、器具及び備品	3,908	4,031
減価償却累計額	△3,162	△3,275
工具、器具及び備品 (純額)	746	755
土地	21,580	21,671
建設仮勘定	345	416
有形固定資産合計	38,013	37,821
無形固定資産	52	42
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	2,146
差入保証金	4,486	4,455
その他	2,564	2,577
貸倒引当金	△58	△57
投資その他の資産合計	8,764	9,121
固定資産合計	46,830	46,984
資産合計	59,260	60,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,798	1,755
短期借入金	210	—
1年内返済予定の長期借入金	4,435	4,199
未払法人税等	1,832	1,677
賞与引当金	582	637
その他	3,509	3,493
流動負債合計	12,369	11,763
固定負債		
長期借入金	5,235	5,431
退職給付引当金	450	396
資産除去債務	613	640
その他	1,584	1,589
固定負債合計	7,884	8,058
負債合計	20,253	19,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,166	8,166
資本剰余金	9,031	9,031
利益剰余金	30,480	31,408
自己株式	△5,016	△5,016
株主資本合計	42,662	43,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	797
土地再評価差額金	△3,987	△3,987
為替換算調整勘定	2	8
その他の包括利益累計額合計	△3,654	△3,180
純資産合計	39,007	40,408
負債純資産合計	59,260	60,230



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	36,833	37,438
売上原価	10,832	11,180
売上総利益	26,000	26,257
販売費及び一般管理費	21,535	22,662
営業利益	4,465	3,595
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	19	22
F C加盟料	62	53
受取地代家賃	33	32
雑収入	39	58
営業外収益合計	160	171
営業外費用		
支払利息	26	24
賃貸費用	15	12
雑損失	34	33
営業外費用合計	75	70
経常利益	4,550	3,696
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	83	88
固定資産売却損	8	—
減損損失	28	—
特別損失合計	120	88
税金等調整前四半期純利益	4,434	3,608
法人税、住民税及び事業税	1,910	1,594
法人税等調整額	△98	77
法人税等合計	1,811	1,671
少数株主損益調整前四半期純利益	2,622	1,937
四半期純利益	2,622	1,937

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,622	1,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	467
為替換算調整勘定	△0	6
その他の包括利益合計	58	474
四半期包括利益	2,680	2,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,680	2,411
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,434	3,608
減価償却費	1,562	1,610
減損損失	28	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34	△54
受取利息及び受取配当金	△24	△26
支払利息	26	24
固定資産売却損益 (△は益)	4	△1
固定資産除却損	83	88
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2	△46
仕入債務の増減額 (△は減少)	△76	△43
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90	6
その他	5	148
小計	5,927	5,310
利息及び配当金の受取額	24	26
利息の支払額	△26	△24
法人税等の支払額	△2,064	△1,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,861	3,569
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	5	△7
有形固定資産の取得による支出	△2,180	△1,560
有形固定資産の売却による収入	54	10
貸付けによる支出	△45	△56
貸付金の回収による収入	51	189
差入保証金の差入による支出	△187	△77
その他	32	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,270	△1,468
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	210	△210
長期借入れによる収入	3,258	2,865
長期借入金の返済による支出	△3,790	△2,905
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△605	△1,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	△928	△1,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	662	845
現金及び現金同等物の期首残高	8,869	10,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,532	11,505

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

該当事項はありません。